

## 送 辞

高台にある校舎から見下ろす加茂の町並みも冬のセピア色からわずかながらに色味を帯びて来ています。雪が少なかった冬も終わり、春の訪れを感じられる季節となりました。

平成から令和へと元号も変わり、新しい時代の幕開けを感じられる一年でした。

さて、本日加茂星高等学校の三年間の課程を修了し、光に満ちた人生のスタートラインに立っている三年生、並びに看護専攻科二年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

今、卒業証書を手にした皆様は、きっとすがすがしい気持ちで胸がいっぱいのことでしょう。振り返ればこの三年間のたくさんの思い出が心にうかぶのではないのでしょうか。

私たちが先輩方と過ごした、この二年という歳月は、楽しく、また学ぶことの多い大変有意義な時間でありました。

探究コースの英語セミナーの際に、何をしてよいのかわからず迷っている私達を先輩方は率先してリードしてくれ、助けてくれました。

また、体育祭の時にはチームリーダーとして素晴らしいパフォーマンスを考えてくださり、軍を勝利へ導くために私達の先頭に立ってまとめてくださいました。「we are gyosei」の大合唱では、先輩方の団結力に頼もしさを感じました。体育祭や暁星祭などの行事、クラブや委員会、あるいはスクールバスや登下校の際など、先輩方と私たち在校生は、様々な場面で触れ合う機会を得てきました。そんな時、先輩方はいつも、私たちに凛々しく頼もしい姿を見せてくれました。

その先輩方も、これからはそれぞれの道を歩んでいくことでしょう。きっとそこでは、今までよりもさらに辛く厳しい道のりが待ち受けていることだろうと思います。しかし、この加茂星高校で学んだことが、きっと勇気と自信を与えてくれることと思います。

見送る私たちは、先輩方から教えて頂いたことを礎に、この加茂星高校の歴史を引き継いでいくことを約束します。

先輩方一人一人が、それぞれの夢を握りしめ、輝かしい未来へ、力強く歩んでいかれることを、在校生一同、心から願っています。

最後になりましたが、様々な進路に向かう三年生の皆さん、専攻科へ進む看護科の皆さん、看護師としてお勤めになる五年生の皆様のご多幸とさらなるご活躍をお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和二年三月六日

在校生代表 生徒会長 関根 耕介